

はじめに

1. 「関西国際関連情報ファイル」とは

「関西国際関連情報ファイル」は、関西経済に関する現状把握や今後の展開等を検討するための基礎データとして、近畿経済産業局が様々な国際関連情報を収集・分析し、わかりやすい形でとりまとめたものです。1998年(平成10年)7月に第1号を作成以後、毎年更新を行っています。

本編は、8項目(①貿易、②対日投資・対外投資、③人材育成、④国際会議、⑤姉妹自治体の提携、⑥訪日外国人、⑦日本人出国者、⑧国際特許)で構成されています。また、資料編は、貿易関連データ等をベースに関西地域と関連の深い主要27カ国・地域と関西との関係をとりとまとめたものです。

当ファイルは、関西の国際化の対応を考える際の参考に供する資料として編集してきましたが、グローバル化社会の進展のもと、関西の国際化も著しく進展したことにともない、この度、名称を従来の「関西国際化情報ファイル」から「関西国際関連情報ファイル」に変更しました。

利用上の注意を参考に、当ファイルをご活用頂けましたら幸いです。

2. 利用の注意

本ファイル中の「関西」は、特に指定の無い限り、近畿経済産業局所管地域(福井県、滋賀県、京都府、兵庫県、大阪府、奈良県、和歌山県の2府5県)を指します。

統計数値は、単位未満を四捨五入しています。

「関西国際関連情報ファイル」2013年版は、原則として2012年のデータに基づき作成しています。

資料中の年号は、出典元データの年号を採用していますので、年の場合や年度の場合がありますので、ご注意ください。